

ゼロカーボン北海道推進協議会「省エネルギー・新エネルギー促進部会」令和4年度開催概要

【検討テーマ】 省エネ・新エネを進める上で必要な人材の育成・確保について

- 【検討内容】
- ・省エネや新エネの導入を進めていくためには、エネルギーに関する基本的な知識を持ち、省エネや新エネ導入の必要性・重要性などについて理解し、地域や企業等の事情に応じた具体的な取組を進めることができる人材が必要と考えるが、具体的にどのような人材が必要となるか。
 - ・現下、幅広い業種で人手不足や人材確保が課題となる中、上記のような人材を育成・確保するためには、外部サービスの活用も含めて、どのような手段・取組が有効、必要となるか。

第1回 省エネ・新エネ導入を進める上で必要となる人材やその育成・確保策

- (1) 日時・場所 9月7日(水) 15:00～ かでの2.7 (オンライン併用)
- (2) 出席者 経済団体、金融機関、エネルギー事業者、国出先機関、道など21団体
- (3) 内容

① (一社) 省エネルギーセンターご講演「診断活動から知る省エネ活動」

【概要】

- ・省エネ診断の事例から見ると、エネルギーの管理体制やPDCAに課題がある事業者が多い。取組を進める上では、権限のある役職者が目的・方針を定めて進めて行くことが重要。
- ・エネルギー管理は、設備担当など一部の従業員だけではなく、広く事業所全体で取り組む必要がある。
- ・エネルギー管理に携わる従業員育成のため、省エネセンターでは、省エネ法に基づく「エネルギー管理講習」を始め、各種研修や検定などを実施。

② 国の施策の動向、支援制度の紹介

- ・北海道経産局「新エネルギー人材育成研修会」の実施について
- ・北海道労働局「特定求職者雇用開発助成金 成長分野(グリーン・CN業務)人材確保・育成コース」について

③ 意見交換

省エネや新エネ導入を進めるために必要な人材と、その育成・確保に向けた課題や有効と考えられる取組などについて意見交換

【エネルギー需要側からの視点】

- ・中小企業においては、脱炭素の必要性や重要性の理解が広まっていないのが現状。様々な機会や媒体を通じた情報発信や、集約された情報の提供がまだまだ必要。
- ・企業が省エネや新エネ導入を進めるために人員を割く、体制を整備するといった判断をするためには、効果の見える化など動機付けが重要。
- ・道内の大方の企業では、現状の人員で対応しており、管理部門等が他の業務と兼務してエネルギー管理を行うことから負担増が避けられない。内部での体制構築などにあたっては、外部コンサルタントの活用や外部人材の受入などが有効。

【エネルギー供給側からの視点】

- ・電力の基礎を身につけた電気系の人材が必要。
- ・風力発電整備の保守点検に係る人員や、電力システムについての知識・経験を有する人材が不足している。
- ・案件の種まきから完工まで、事業全体を俯瞰できるマルチタスキングに長けた人材が望ましい。
- ・今後の人材確保は容易ではなく、全て自社で賄うことは非常に困難。他社とのアライアンスなどを含めた戦略が必要。
- ・再エネ設備のメンテナンスや部品製造などへ、他業種からの新規参入がしやすい仕組みづくりを期待。

第1回の開催結果 : <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/129640.html>

第2回 マンパワーを補うツールや外部サービスの活用と不足人材の確保に向けて

(1) 開催時期 11月下旬以降を予定

(2) 内容 (予定)

- ・マンパワーを補うツールや外部サービスの活用、また、不足する人材の確保に向けた取組について検討を行う。